

隠岐の島町議会議員 一般選挙

令和7年4月20日執行

選挙公報

投票日

4月20日

投票時間
(全投票所)

午前7時～午後6時

みんなで投票、みんなで参加。



隠岐の島町明るい選挙推進協議会・隠岐の島町選挙管理委員会

〒685-8585 隠岐の島町下西 78 番地 2 TEL 08512-2-2111

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。)

選挙公報

こころ豊かなふるさとづくり!!

(隠岐の島町の活性化)

1. 安心・安全なふるさとづくり

住民の身近な問題点の解決に取り組みます。

2. 男女が共に活躍できるふるさとづくり

特に弱い立場にある女性の職場の確保、労働条件の向上に取り組みます。

3. 文化・歴史を大切に、活用できるふるさとづくり

文化・文化財や歴史に光を当て、各種イベントや観光に経済的に活用できるよう取り組みます。

4. みんなで手を取り合って元気なふるさとづくり

趣味の仲間、健康づくりの仲間で元気に活動・交流できるよう取り組みます。

5. 町民の声を届けてみんなでつくるふるさとづくり

これまでも開催されてきた模擬議会を旧村単位でも開催し、そして出前町長室の積極的な開催に取り組みます。



さいとうのりこ
斎藤則子

平和・自然・いのちを守り、住みよい隠岐を

町民アンケート最終結果報告

ご協力ありがとうございました(3/31 現在 106名)

●暮らしで困っていること

- 1位 物価高騰
- 2位 消費税増税
- 3位 介護・医療費の負担増



●町政にのぞむこと

- 1位 医療体制の充実
- 2位 買い物弱者対策
- 3位 空き家・墓じまい対策等
- 4位 汽船、飛行機、バス等公共交通整備
- 5位 国保税・介護保険料の軽減



●子育て支援・教育環境改善についての要望

- 1位 子どもの医療費の高校までの無料化
- 2位 高校や大学などの学費軽減
- 3位 学校給食費の値下げや無償化
- 4位 子どもの居場所づくり
- 5位 教員増員、少人数学級など教育充実

●町議会、町議にのぞむこと

- 1位 住民の声を議会に届けてほしい
- 2位 無駄づかいのチェック
- 3位 行政や議会の様子を知らせてほしい

●町政や国政、共産党への意見 (一部紹介)

- 補聴器の助成制度を実現してほしい
- 死ぬ時まで良かったと思える町にしてほしい
- 島外の人も汽船・飛行機の運賃助成をしてほしい
- 国民生活は苦しいのに裏金問題は腹が立つ
- このようなアンケートを定期的に行ってほしい
- 町議会にも共産党の議員が必要

皆さんの声にこたえます

日本共産党は結党以来、反戦平和・自主独立・住民が主人公の政治を目指してきました。

私は皆さんの声を町に届け、その結果をお知らせします。隠岐に住んでいる方はもちろん、本土に住んでいても隠岐の島町の家族を思う方、隠岐に観光などで来られる方も幸せになるような隠岐の島町にしていきたいと思えます。

村上 一(まこと)略歴

1958年(昭和33年)生まれ
 那久保育所入園、西田保育所卒園
 下西小学校卒業、布施中学校卒業
 松江北高校卒業、北海道大学水産学部卒業
 県立高校勤務(隠岐水産高校、浜田水産高校)
 島根県教職員組合執行委員長、しまね労連議長
 現在、代地区在住(屋号・山本)



日本共産党
村上 一
むらかみ まこと

選挙公報



たかみや よじいち

高宮陽一

次世代に引き継ぐ

活力ある隠岐の島町を！

一、あんきに暮らせるまちづくり

子育て・教育・医療・福祉などの公共サービスを充実し安全・安心であんきに暮らせるまちづくりをめざします。

二、活力ある地域づくり

地域の主体性や特性を活かした地域振興を推進し将来への夢と希望が持てる、活力ある地域づくりをめざします。

三、いきいきと働けるまちづくり

雇用の場を確保し、生活の向上とやりがいのある職場づくりをめざします。

四、議会改革と民主的な運営

議会基本条例を主体とした議会改革を進め、議会力の向上を図ると共に、民主的な議会運営と公正・公平な行政運営をめざします。



西村まりこ

「町がやっていることが今一つわからないがね。」

みなさんとお話すると必ずこんな会話となってしまう。

どうすればと、議会を傍聴するたびに思っていました。

そんな中、多くの仲間みなさんから「一緒にやろうや。」の

声。

私の背中を強く、大きく押ししてくれました。

『子ども達のために、みんなのために、そして町のために』

私なら言えます。

誰よりも公平な目で、大きな声で、みなさんの数々の思いを一つ一つ届け、心から

「誰かのために」

とみなさんが言える町を、子、孫の時代に引き継ぐために働きます。

隠岐の島町がさらに暮らしやすくなるよう、情熱をもって、みなさんと一緒にまちづくりを進めます。

選挙公報

隠岐の島町に「新しい風」を！

●ふるさと納税制度のさらなる活用を！

当初、カレンダーしか返礼品のなかった隠岐の島町は地場産品を活用した返礼品を採用するようになり、寄付金額は年間3000万円を超える程度になりました。しかし、本町のふるさと納税制度はまだまだ伸びしろがあります。目標金額をまずは「三億円」に設定することを提言し、さらなるふるさと納税改革を推進し自主財源を確保すると共に、頂いた寄付金を地域課題解決に有効活用するよう、引き続き提案します。

●地域おこし協力隊を一次産業の担い手に！

地域おこし協力隊員を拡大し積極的に一次産業分野に誘致し、三年間の任期の間に仕事を覚えてもらい、一次産業の人材確保につなげ本町の産業を守ります。害獣の少ない本町は就農へのハードルは本土より低く、恵まれた海域、豊かな森林環境があり、人材育成する環境にも恵まれています。

●人口減少しても安心して暮らせる環境整備を！

医療・介護・消防・学校、どれが機能低下しても安心して暮らせません。各分野の人材確保を行うとともに、仕事環境の改善やDX（デジタルトランスフォーメーション）化の推進を提言し、安心して仕事をし、暮らせる町の実現に尽力します。

●中・長期のビジョン策定による各地域の活性化を！

西郷港を中心とした都市計画が策定され、開発事業がスタートしましたが、開発対象外の旧西郷地区や旧村地区（都万・五箇・中村・布施）を将来的にどうするか、具体的な計画が必要と考えます。各地区を「住みよい地区」にするためのビジョン策定を行い、町全体が活性化するよう取り組みます。

ふるさと納税制度の活用、観光交流人口の拡大、医療体制の再構築の提言、旧村地区の活性化の提言、公立高校の魅力化、議会の情報発信、竹島問題など、様々な分野について取り組んでまいりました。しかし、本町にはまだまだ解決・改善すべき問題が山積しており、引き続き様々な課題に取り組みたいと考えております。考えていることの一部ではありますが、共感頂ければ、私への投票をお願い致します。



にしお こうたろう

西尾幸太郎

(48歳)

住民(各地域)と行政との 懸け橋に努めます

誰もが住みたいまちづくりを目指します

☆住民の意見が届く議会へ

住民と議会の懇談会の充実を図ります。
住民の意見を聞く「目安箱」の設置を図ります。

☆議会と行政との融和に努めます

事前に意見交換ができるよう図ります。
常任委員会の動画配信など、議会内の
情報公開に努めます。

各事業を前進させるため、住民の皆様のご意見・
ご指摘を町政に反映できるよう

藤野は一生懸命努めます

～ プロフィール ～
1955 (昭和 30 年) 1 月 3 日生
油井小学校 那久中学校
大阪府立城東工業高校卒業
2004 (平成 16 年) Uターン
隠岐の島町油井にて自営業
・ 隠岐の島町漁業集落副代表
・ 隠岐の島町議会議員
広報広聴常任委員会委員長



藤野さだあき



村上
みつみつ

経済 家計に直撃するインフラへの費用の削減

- ・倍になった上下水道料金を元に戻して、必要であれば一割増から値上げを始める。
- ・島内に生産者組合を設置し地域通貨を発行して生産者間での実質的物々交換にて生産を行う。

子育て 人口減少にブレーキをかける為に

- ・給食を無償化し、子ども食堂の拡充を図る。
- ・隠岐の島町に保育園、小中高大学の特区を誘致し、人口増加を図る。

暮らし 人にやさしい生活環境の整備

- ・防災無線等を利用して島全域で無料 Wi-Fi を使えるようにする。
(国のスーパーシティ構想を利用して財源を全て国庫にて賄う)
- ・多目的利用のヘリタクシーを導入し、住民の皆さんの利便性の向上と
医師を運ぶ事で患者のリスクと医療費の削減を図る。

私の視点・姿勢・将来展望

- ① 社会を動かすのは政治、議会は最高の意志決定機関。議員は身近な住民代表。私はこれまでに経験した64回の町議会定例会本会議で61回の一般質問をし、住民の日常生活から発生した要望の実現と島の将来のための提案発言をし続けて来ました。皆様からの行政への要望を聞かせていただき、提案発言ができる場を私に与えて下さいますようお願い申し上げます。
- ② ジリ貧な島の産業経済と社会の衰退に歯止めをかけるにはどうしたらよいか。消滅への危機感を持つ必要がある。自治体存続の起死回生策となる一大事業を展開するしか方法は残されていない。叫ばれて久しい最大の課題である「少子化と人口減少」に歯止めをかけるには、豊富な森林資源や漁業資源を活用した農林沿岸漁業の再興・などを目指すしかない。然し、これまでの延長線上の方法のみでは課題の解決は到底できない。
令和7年度当初予算203億円のうち真水の自主財源は40億円しかないという2割自治の財政構造からの脱却を図らなければならない。この極めて弱い財政構造の変革こそが課題解決の糸口です。財政構造までも変革ができて自主財源の伸長を可能にするのが浮体式洋上風力発電事業なのです。
世界は、地球温暖化対策パリ協定で2050年には脱炭素エネルギーに移行する。電気や水素ガスなどのクリーンなエネルギー源を求める革命期にある。本町も例外なく自前で再生可能性エネルギー源を創出する必要はある。広大な周囲の海を全島民のために活用することを考える時です。漁礁効果も大きく、初年度年間100億円もの固定資産税・年間2.5~7億円の水産振興基金・新規雇用500人で住民税の増加・など絶大なる経済効果をもたらす浮体式洋上風力発電事業が企業誘致の必要も無く来てくれるという。早期に実現し、衰退一方である本町の起死回生策にしよう! 大きく自主財源を獲得して日本一公共料金が安い住みやすい町も夢ではない。まずは全島民の声を結集し、風波調査ブイの早期設置を皆で叫ぼう! 島民からの声の高まりによって実現できるのです。
- ③ 介護福祉は大きな社会的課題。介護を担う職員を敬い、処遇改善と人員確保に対処すべき!
- ④ 車を運転できず日用品の買い物にも不自由な住民は多い。買い物弱者への強力な支援策を!
- ⑤ 西郷布施線・中村伊後五箇都万間の島後環状線・原田釜屋線・この主要幹線道路を早く完成すべきだと言い続けて来た。島を周回する環状線と縦と横を繋ぐ十字線は早く拡幅直線化完了を!
- ⑥ 町村合併後、島の北側半分は衰退の一途! 島の玄関口の整備も重要だが西郷への一極集中の反面で北部衰退が大きな課題となっている。役場中出張所と五箇支所の建て替えを提案し、中出張所は完成したが五箇支所は遅れている。早期実現をしてせめて行政施設は地域間均等化を図るべきです。
- ⑦ ロウソク島遊覧船待合所の設置を提案し、実現後には活況を呈している。隠岐温泉五箇の活用など観光スポットの整備と活用にこれまで以上に行政がしっかりと取り組むべきは言を待たない。
- ⑧ 竹島は日本固有の領土で隠岐の島町の所属。あきらめてはいけません! 戦後ずっと続けられて来た返還要求運動を根気強く展開して行きましょう! 久見竹島歴史館や竹島対策特別委員会の設置を提案し、実現をし、今日まで活動して来ました。引き続きこの運動に係らせていただきたい!



まえだ
よしき
前田
芳樹

しがらみのない明るい未来を!

誰かがやってくれるのを待つんじゃなくて、みんなの声でつくりあげていく島がいい。

子どもたち、孫たちが 悲しむ未来を残せますか?

なければ、次の世代に誇れる未来は残せません。みんなで希望ある隠岐を取り戻しましょう。

「昔の隠岐は良かったよ。人も多くて活気があってね、」と、たくさん
の声を聞きました。皆さん誇らしく、楽しそうに、懐かしそうに話して
ください。今は地域の過疎化、人口減少、医療や福祉の問題など課題は
山積みですが、仕方ないと諦めてしまって本当にいいんでしょうか。
できることはきっとあります。今の世代を生きる私たちが行動し



山田浩太は隠岐をこう変えたい!

● 地域の食と農を守り、食料自給率をあげる!

自然の恵みで生まれた隠岐の食。そのありがたさが、少しずつ失われています。漁獲量も減り、農地も失われつつある今こそ、みんなの知恵と力で守っていきましょう。健やかな食卓と健康を未来へつなぎましょう。

● 子どもの笑顔の数はみんなの幸せの数! 子育て世代に十分なサポートを!

高齢者を差し置いて若者だけの生活が豊かになればいいと言いたいわけではありません。まずは何よりも子どもが生まれて育つ島を取り返さなければいけません。そのために地域をあげてみんなで子どもを育てる。それが町を発展させる循環につながり、島全体の幸福度も上がると考えています。

● 未来の投資へ回せる財源確保! いま本当に予算を使うべきは何なのか?

限られた財源だからこそ、今どこにお金を使うべきか見極めることが大切です。将来への投資、たとえば子育て、教育、医療、福祉にこそ、今の予算を振り向けるべきではないでしょうか。使い道の優先順位を、町民の目線で変えていきます!

山田浩太 隠岐

検索

<https://yamadakota.com>

SNSでも情報発信しています▶



1984年福岡県福岡市生まれ。小学1年のときから不登校になりその後中学卒業まで学校には通わず自宅で過ごす。18歳から営業職に就き、NTT系列代理店営業で全国1位の成績を頂いた後24歳で独立。その後東京に移住し暮らす中コロナ禍に直面。自分の生き方や日本の在り方について考えるようになり、2022年島根県隠岐の島町に移住。2024年隠岐の島町議会議員補欠選挙に当選。しがらみがない移住者だからできる役割を果たし、町民の声を正しく行政に届けるまちづくりを実現します。



山田

やまだ

参政党公認

こうた

40歳

「まちづくり」・議員活動の基本方針

- (5) (4) (3) (2) (1)

農業・林業・水産・畜産等の第一次産業の振興及び、観光振興に対する施策に対し、新たな視点で革新的な取り組みをするよう提言していきます。

社会の進展に応じた教育施設の充実と、子どもたちの個々の能力が大きく育つ学校教育が実践されるよう活動していきます。

高齢者の方々への手厚い支援が行われ、高齢者の皆様がより安心して暮らせる町となるよう議員活動に尽力します。

災害に強い安全・安心なまちづくりを目指し、道路・橋・河川・危険傾斜地等の整備計画が着実に実施されるよう行政機関に働きかけしていきます。

地域に合った産業振興と地域活性化になお一層注力するよう訴えながら、地場産業の振興と活力ある豊かなまちづくりを目指し尽力します。



村上かねたけ

選挙公報

私の政治のテーマは地方創生(一極集中の是正)です。

「どうしたら地域が活性化するか」と自分なりにアレコレ考えてきましたし、機会があれば提案したりもしてきましたが、「なぜ地方が衰退していくのか」と考え始め、その大きな要因が消費税にもあると考えるようになりました。

みなさんは消費税がどのように納められているかご存知でしょうか？

単純に消費税10%で計算する場合

(消費税が掛かると認められる売上)×10/110 から(消費税が掛かると認められる仕入れ・経費)×10/110 を引いた差額を納めるのですが、消費税が掛かると認められない経費があり、その大きなものが租税公課(税金等)・減価償却費・給料です。こういう計算方式で、事業者が消費税を納めています。これは、たとえ去年と同じ売上・仕入れ・経費の金額でも、今年は節約して給料を上げた！という内訳にすると事業者の利益が減るという構造になっています。法人税や所得税等と違い、赤字でも納めなければなりません。

ところが、派遣社員に給料を支払う場合は消費税が掛かると認められるのです。(節税できる)

また輸出企業は、売上に消費税が掛かると認められないので逆に還付されます。(増税するほど還付率が増える)

こういった企業があるのはほぼ都市部でしょう。事業所の格差が地域間格差になるのは当然ではないでしょうか？

このような制度の中に、1000万円未満の売上で免税事業者だったはずの人たちもインボイス制度で巻き込み、さらに国会ではこの状態で(最低)賃金を上げると…ならば先に消費税をやめるべきです。労働者にとっても事業所が倒産したら、給料が上がっても本末転倒です。過疎地なんて、ますます都市部に人口流出することになりかねません。このような税制じゃなくても、税金の取り方なんてほかにいくらでも出来るのではないのでしょうか？

しかも国には財源がないと言われてますが、政府は先にお金を発行することが1番の仕事です。そうして自治体に交付し、私たち住民が経済を回し、それからその一部を納税します。こういう順番でありながら、税金で国を運営していこうとするのは実質不可能です。自治会等を会費で運営するのは訳が違うのです。お金がないなんてあり得ません。

みなさんがこの認識を持たないと、財源確保という理由でますます増税されていきます。私たちの訴えはお金がないと言われて終わってしまいます。「お金をあげるからこれやって」の一方向的な交付で地域が活性化するとも思えません。私たち住民が、何が必要かをみんなで話し合ったりするからこそその活性化ではないのでしょうか。

模索しながらにはなりますが、私はこういう認識を他の島や過疎地とも共有しながら共通の課題を見つけ、「町」としてでなく「島」・「過疎地」として訴えていき、交付金などを拡充できるような議員になりたいです。

過疎地の声は小さいかもしれない。でもそれは各地に分散されているからで、集めたら大きくなると考えています。町内でも島外でもそういう活動がしたいので、その立場と時間を私に与えていただけませんか？



水原一絵

= 牧野牧子 2期目の挑戦!! =

～子どもたち、孫たちが、ずっと暮らしたい、帰ってきたいと思う島に～
☆身の丈に合った政策であるのかを精査して参ります。

【笑顔になるまちづくりをみなさんと!!】を目標に4年間、議員活動をして参りましたが、皆さんは笑顔になれたでしょうか？

いち主婦、いち住民の目線で問題提起をしても、条例や規則、予算の壁があり却下されることもあり、議員間にも其々の考えがあって前に進まない場面もありました。しかし、住民の方々からお声かけを頂き、共に行政に働きかけることで実現できたこともありました。

前議会では「議会基本条例」が策定されたことで、「住民と議会との懇談会」の開催や「議会モニター」設置などで、住民の方から直接ご意見をいただくなど、開かれた議会への一歩を議員一同で共に果たすことができたと感じております。

【これから取り組む課題は】

*再生可能エネルギーの見直し。

諸外国の動向も鑑み、経済的・環境的コストと利益のバランスを精査する必要があります。

*子育てしやすい環境整備。

育児支援制度や職場環境の改善は、地域の活力を支える要素になります。

*山を大切に、海を守る。

森林保全は土砂流出を防ぎ、海洋資源保護にも直結します。地域全体での保全活動を推進します。

*動物愛護について取り組み。

飼育方法のついで啓発活動及び、地域問題となる野良猫増加防止のために避妊・去勢を推進します。

*港周辺及び町内各所のまちづくり。

身の丈に合った町づくりになっているのか。離島らしい町なのか、それとも、都会的な街づくりを目指しているのか、将来について考えていきます。

*ふるさと納税を推進。

財源確保のため、地元特産品や魅力的なプロジェクトをPRすることで隠岐の地域ブランド力を高められます。

*自主防災組織率向上の推進。

住民主体の防災活動が実現すれば、地域全体のレジリエンス(回復力・団結力)が向上します。また、集団避難ができないご家庭について取組んで参ります。



牧野牧子

☆目標は、消滅可能性自治体から脱却！

選挙公報



あべ だいすけ
安部大助
(44歳)

PHILOSOPHY 理念



将来のために進化し続ける誇りある町に

大きく時代が変わっている中で、

- ↓ 次世代を担う子どもたちの将来をどう築いていくか
 - ↓ 高齢の方や障がいをお持ちの方をどう支えていくか
 - ↓ 我々島民の生命線でもある、離島航路、離島医療をどう守っていくか
 - ↓ 頑張っている若者や事業者さんをどうやって後押しをしていくか
- 町民が主体となり、まち全体で取り組む必要があります。

01

町民の力を活かす産業・地域振興

公的サービスの主体は町民が担い手となり、そのコーディネートやサポートする役割が行政だと思えます。産業、地域振興において町民の自由な発想や力を最大限活用できる協働体制の構築が求められています。

- ↓ 操業基盤整備の推進、投資、金融支援の規制緩和などに努めます。
- ↓ 地場産業企業誘致による雇用確保と雇用創出に努めます。
- ↓ 町民力、地域力の活性化と自主自立性の推進に努めます。

02

子育て・教育の先進地へ

結婚、妊娠、出産、子育てにおいて切れ目のないサービスの充実（経済支援、環境整備）。また、グローバル化が進む中、学校・家庭・地域教育の連携強化、さらに発達障がい支援、不登校支援の充実が求められています。

- ↓ 妊娠・出産に対するサポート支援の拡充に努めます。
- ↓ 地域とのつながりを活かした子育て環境の整備に努めます。
- ↓ 子ども達の将来を広げる教育機会の確保に努めます。

03

医療と介護・障がい福祉の連携強化

住み慣れた地域で、有する能力に応じた生活を営むためには医療・介護・障がい福祉の連携は必要です。しかし、連携を推進する上で深刻な問題となっているのが人材不足です。連携体制の強化とともに人材確保に向けた支援策も求められています。

- ↓ 地域包括ケアシステムの更なる推進に努めます。
- ↓ 介護する側、受ける側の支援拡充と社会参加の推進に努めます。
- ↓ 新規養成・復職支援、負担軽減、職場環境の整備に努めます。

平成元年生まれIターン5年目 現場と議会から一次産業を振興します！！

1.生産力の強化

生産活動の省力化・品質向上のための最新技術の導入を支援します。
「儲かる一次産業」を活性化し、担い手候補となる人材の啓蒙、育成を支援します。

2.地産地消の促進

生産者組合の結成を促進し、地元食材の安定供給を実現する基盤を形成します。
流通インフラを整備し、高品質な地元食材を適正価格で消費できるマーケットを形成します。

3.島外外貨の獲得

自社の販売網や営業ノウハウも提供し、島外への販路開拓を支援します。
質の高い地産品を活かした新商品の開発を促進します。

一次産業が潤えば、島全体も潤う
だからこそ、実現に本気です！！



前田 ゆうた
無所属

プロフィール

- ・私立麻布高等学校卒業
- ・上智大学法学部卒業
- ・ソフトバンク(株)入社
- ・フリーライターとして独立
- ・隠岐の島町移住
- ・隠岐の島の幸を日本全国へ！
『隠岐の島オンライン』運営
- 一般社団法人隠岐の島振興協会 理事

活動実績

- ・OEM商品「わかめ昆布塩」開発、販売に協力
(山陰中央新報2023年4月12日掲載
NHK列島ニュース2023年4月27日放映)
- ・鮮魚用バブルジェネレータ開発に協力
(朝日新聞島根版 2023年11月15日
山陰中央新報 2023年12月16日掲載)
- ・海士町との共同プロジェクトにて牡蠣養殖用 害魚駆除カゴ開発に協力
(朝日新聞島根版 2025年2月6日掲載)
- ・自社ブランド米「ユタカナヒカリ」栽培

選挙公報



菊地 政文

島の人口減少に歯止めを！
U I タ ー ン 者 の 促 進 及 び 地 域 ぐ る み の 支 援 。

未来を担う子どもたちに保育・教育の充実を！

各地域の分館活動が、子どもからお年寄りまで縦の繋がりを！

島のお年寄りの健康寿命を拡大させる！

小さな地域が島の主役に！

産業・漁業・観光の資源の力を武器に。

自然災害から生活を守るため、防災・減災の地域力をつける。

S D G s の 理 念 美 しい 豊 かな 自 然 を 守 り 続 け る ！

昔から、海のすだて、山の植林で資源を守り続けてきた。

“ 知恵と汗で町の未来を開いていきます！ ”

☆演説ビデオをぜひご覧ください！



この洋上風力発電の設置が完了すると、町に発電事業者からたくさんのお金が入ってきます。

※スマホのカメラを下の四角に向けると「QR コードの読み取り成功」と出ますのでそこを押していただくだけでビデオが始まります。



加速する人口減少！

隠岐の島町は現在消滅可能性自治体と呼ばれています。

20年前に四つの町村が合併してできた本町ですが、この間に4,522人少なくなっています。

この人数は旧五箇村と旧都万村の人口を合わせたよりも多く、年間平均226人がいなくなっている計算です。毎年200人規模の集落が消滅して来ていると言い換えてもいいかもしれません。

このまま人口減少が加速すれば私たちの暮しはどうなっていくのでしょうか？

学校や事業所の統廃合が進み、若者人口の減少は農林漁業・医療・介護等、多くの事業が担い手不足をさらに招いていくことでしょう。

産業・経済は衰退し、ひいては町の予算も縮小、硬直化して当たり前の住民サービスを維持して行こうとすると町民の皆様のご負担も増え、積もって行く負債は後の世代の重荷となっていくことでしょう。

地域活力あふれる町に！

しかし逆に、町に自由に使えるお金の自主財源が豊富にあれば、多くのことが解決できると考えます。

例えば宮崎県都城市の子ども2人連れの家族が移住した場合に500万円を給付し飛躍的に若い世代が増えた事例、もし豊かな財源があれば各課題に有効な方策です。

このたびの洋上風力発電の誘致が実現すれば、多くの自主財源（私の試算で初年度150億円以上の固定資産税、他）が生み出されます。

また国の負担で建設に伴う港や道路等の整備工事が発注され、地元の事業所が請け負う仕事がたくさん生まれることにも繋がります。

地域活力あふれる町へと変わっていき、後の世代にも大きな財産を贈ることができるようになるでしょう。

洋上風力発電の誘致で若者たちが帰ってくる町に！
ご賛同の尊き一票を
お願い致します！



わきた 千代志

ちよし

【役職歴】

元有木小学校・西郷南中学校・隠岐水産高等学校 PTA 会長 / 元隠岐の島町役場税務課長
前隠岐島後認定和牛改良組合長 / 前隠岐の島町卓球連盟会長

選挙公報

決意 2025春

町民の心、町民の声、結集の力！
「全世代 青春の島」
を目指します。



皆様の生の声を受け止め「考動」し
傾聴▷考動▷展開 町政に打ち出す！

40年以上にわたる、行政、企業、団体、民間との実務経験に裏打ちされた
発想力⇒提案力⇒突破力⇒実現力を武器に、議員としての立ち位置を
最大限に活かし、最適解を仕留める。明日への道筋を築きます。

町民プロデュースによる「NEXT隠岐の島」プロジェクトを始動しましょう。
新しい風が吹く。島が動きはじめる。

松山
みつおぶ

希望の持てる町づくり

みなさまのご意見、ご提案を真摯^{しんし}に受け
止め、町民のための町政に全力で取り組み
希望の持てる町づくりを目指します

「重点施策」

- 1、人口減少と空き家対策については、最重要課題であり
全力で取り組んでまいります
- 2、地域格差のない町づくりに全力で取り組みます
- 3、基幹産業である農林水産業や、農村漁村集落の活性化
を図り、またこれに関係する事業所の邁進に努めます
- 4、子育てが安心できる町づくりに努めます



石田
茂春
いしだ
しげはる

隠岐の島町議会議員一般選挙

が行われます

投票日

4月20日

投票時間
(全投票所)

午前7時～午後6時

公示日

4月15日

あなたの貴重な一票を無効にしないために…

- ・記載台に掲示された氏名を正しく書きましょう
- ・投票用紙の枠内にはっきりと書きましょう。

※上記以外を加筆すると無効票となる場合があります。



投票できる方

今回の選挙で投票できる方は、次の要件を満たす方です。

- ① 令和7年4月20日現在で18歳以上の方
(平成19年4月21日以前に生まれた方)
- ② 令和7年4月14日現在で、隠岐の島町に引き続き3ヶ月以上住民登録されている方
(令和7年1月14日以前に住民登録された方)

投票時間及び投票所

すべての投票所で投票時間は午前7時から午後6時までです。

※あなたの投票所は、郵送される投票所入場券(郵便はがき)に記載してあります。

投票所は以下の通りです。入場券でご自身の投票所をご確認ください

第1投票所	西郷武道館	第7投票所	隠岐の島町社会福祉センター	第13投票所	五箇生涯学習センター
第2投票所	隠岐の島町総合体育館	第8投票所	今津集会所	第14投票所	隠岐の島町役場都万支所
第3投票所	隠岐の島町役場	第9投票所	加茂漁村センター	第15投票所	健康管理増進施設「漁」
第4投票所	岬町集会所	第10投票所	中老人福祉センター	第16投票所	旧那久小学校
第5投票所	旧飯田小学校体育館	第11投票所	隠岐の島町役場布施支所		
第6投票所	大久集会所	第12投票所	北方集会所		

1～10 (西郷地域)、 11 (布施地域)
12～13 (五箇地域)、 14～16 (都万地域)

※4月12日以降に住所変更された場合は、旧住所地の投票所での投票となりますのでご注意ください。

開票時間及び開票所

投票日(4月20日)の午後8時から隠岐の島町役場本庁舎で行います。



隠岐の島町明るい選挙推進協議会・隠岐の島町選挙管理委員会

〒685-8585 隠岐の島町下西78番地2 TEL 08512-2-2111

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により印刷したものです。)